



“自然死のすすめ”

我が国は世界に類をみないスピードで超高齢社会を迎えます。超高齢社会は、多死社会を意味します。誰にでも公平に訪れる老年期や死を受けとめ、どのような最期を迎えるかを共に考えましょう。



中村仁一氏（医師）は、1996年より「自分の死を考える集い」を主宰するとともに、老人ホーム「同和園」の附属診療所長として、老人医療の実践を通じて、50万部を超えるベストセラー「大往生したけりや医療に関わるな」「医者に命を預けるな」「どうせ死ぬならがんがいい」等々の著者であり、一貫して高齢者の自然死を推進しています。

- ◆ 日 時 **2014年8月30日（土）13時30分～15時**
- ◆ 場 所 **宮城大学大和キャンパス 講堂**
- ◆ 対象者 **一般市民の皆様、看護職・介護職ほか**
- ◆ 講 師 **中村 仁一 医師**
特別養護老人ホーム同和園附属診療所長（京都府）
- ◆ 参加費 **無 料**